

報告日
令和7年9月9日

報告回次
3日目

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	兵庫県			代表者名	坂本 哲也
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	自治研修所	連絡先電話番号	078-754-8228
担当者役職	課長補佐	担当者氏名	鳥居 良介	連絡先E-mail	
住所	655-0872 兵庫県神戸市垂水区塩屋町5-3-1				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（複数団体）	事業名	EBPM入門研修事業		
概要	県・市町の若手・中堅職員に対して、EBPMの手法の講義、指導いただき、データに基づく政策立案のフレームワークをインプットし、それを演習することで、日々の業務からデータの収集・整理の意識の醸成をする。				
支援を求める分野	人材（DXに関する知識習得・研修・育成）EBPM（エビデンスに基づく政策立案）				

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1.

対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年9月9日	支援・助言(実地)	10時45分	17時45分	60
				活動時間（分）	360

2-2.

会場名	兵庫県自治研修所		最寄駅	JR垂水
派遣場所	所在地	兵庫県神戸市垂水区塩屋町5-3-1	最寄駅からの交通手段	タクシー

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	佐藤 拓也
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	研修生の各グループが行ったフィールドワーク結果に基づいた報告を批判的レビューを通じてさらにブラッシュアップさせ、最終報告提案への指導を行っていただいたため、調査結果への考え方、さらなるデータの利用方法を研修生自ら気づき、提案作成に取り組めた。また、最終的に報告で完了ではなく、その後の振り返りなども具体的な考え方を指導いただいた。
アドバイザーへの要望事項	可能であれば、対象などを変更し、スリム化したものを来年度ご指導いただけたらありがたい。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者

属性	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】		合計人数	14人
	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
人数	11		3	

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	現在、県および市町の多くの職員は、EBPMという言葉自体は認識しているものの、具体的な手法や実践経験が不足している。EBPMの重要性は理解されているものの、どのようなデータを収集・分析し、どのように政策立案に活かすべきかという具体的な知識の欠如、さらには実践機会の不足が、組織全体でのEBPM推進を阻害しているのが現状である。これにより、経験や勘に頼る政策立案から脱却し、客観的データに基づいたより効果的な政策形成へと移行することが求められている。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	フィールドワークで調査した内容を他のデータと紐づけながら、真に必要なデータを抽出する。また、データや調査結果のみに拘りすぎず、そもそもの課題、現状は何かということに立ち返る視野の広さも身につける。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	課題と問題の違い、またデータから読み取れることがすべてではないということ、わからないということも一つの発見であるという視点をアドバイスされ、政策提案への道筋を示していただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	データが足りない、当初想定していたものと違う結果があったなど、進め方の変更を余儀なくされた際に、アドバイスを受けた問題点の抽出やそれに対する提案を作成することができた。今までEBPMを意識しなかった職員、また、初めて触れる職員もその考え方の基礎を学び、説得力のある政策提案の進め方を習得した。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他
	政策提案(報告書)	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	想定していたデータが見つからない、フィールドワークで想定した問題点が存在しなかったことなど、新たな調査をする必要があるときに、どのようにデータを揃えていくのかが、時間的に指導いただくことはかなわなかった。(わからなかった、データがなかったなどのパターンに対する考え方などは学べた)	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)	
	アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケートは後日実施	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定
	次年度はスリム化して実施することを今後検討する	
4-4. 事業の最終的な目指す姿	研修修了時(令和7年9月9日)には参加者がEBPMの基本的な考え方から具体的な実践手法までを習得し、EBPMを積極的に活用し客観的なデータに基づいた論理的な政策立案・評価が可能となり、質の高い行政サービスを提供することで、住民の生活の質の向上に貢献することを目指す。	

5.報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可		https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/
掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	
<div>なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください</div>		
6. 地域情報化アドバイザー支援の様子		
今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG等)」を数枚程度貼り付けて下さい。		

